

第4章 上下水道ビジョンの全体像

第4章

上下水道ビジョンの全体像

1 基本理念

市民生活に必要不可欠なライフラインとして上下水道が持つさまざまな使命や役割を果たすため、上下水道を取り巻く社会経済情勢の変化や将来に向けた課題などを踏まえ、50年先の将来を見据え本市上下水道が目指すべき方向性を示す“基本理念”を以下のとおり定めました。

〈 鹿児島市上下水道ビジョン 〉の基本理念



くらしを守り 未来までささえ続ける
かごしまの上下水道

“基本理念”には、つぎの思いを込めています。

- **安全・安心**な市民の「くらし」を、**強靱**なライフラインで「守り」
- 脱炭素・循環型社会に貢献することで地球**環境**を「守り」、「未来」へつなぐ
- 将来にわたり**持続**的な事業運営を行い、「未来まで」市民生活と産業を「ささえ続ける」

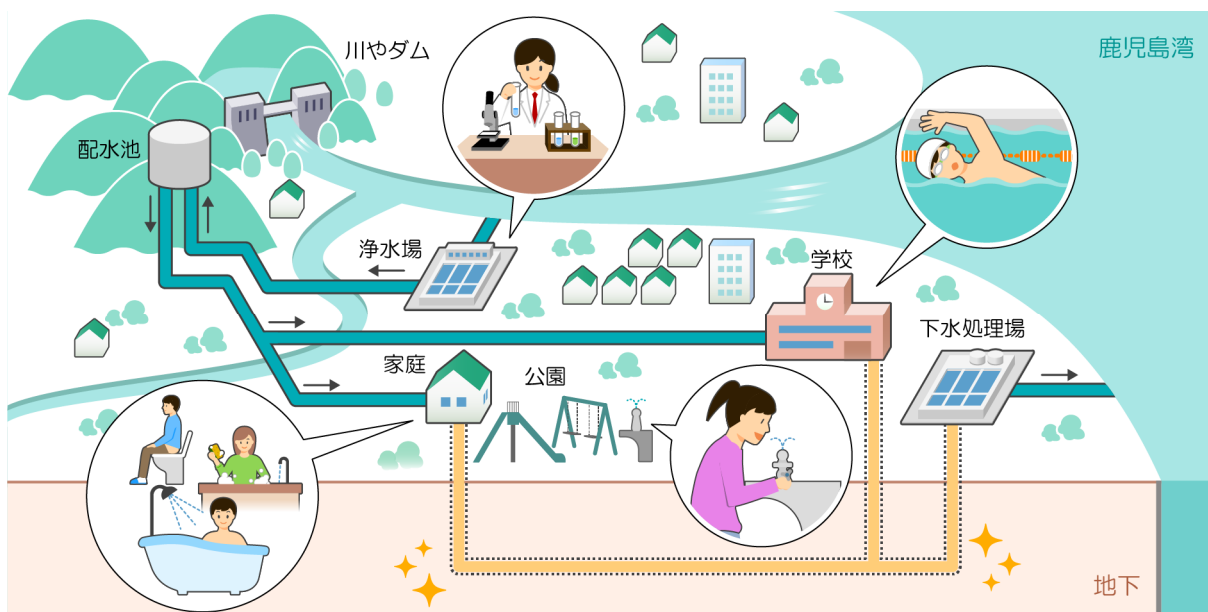
2 将来像と基本目標

(1) 将来像

本市は、50年先の将来を見据えた基本理念を実現するため、4つの目指すべき“将来像”を掲げます。

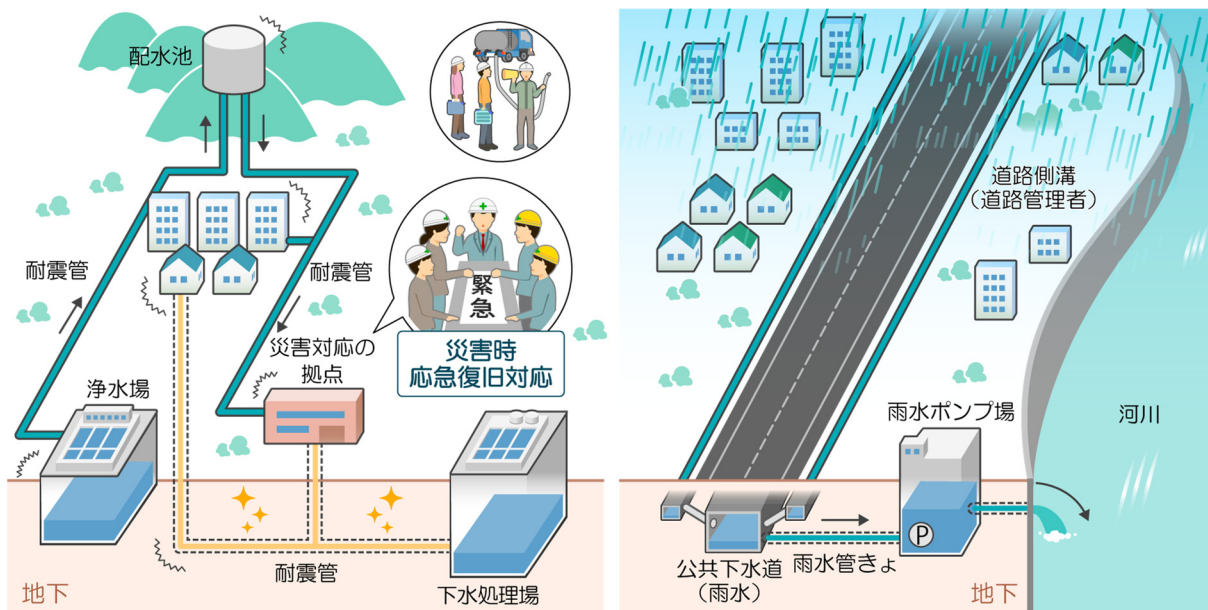
< I 安全・安心 >

市民が安全な水をいつでも安心して飲める「水道」と安全・安心を守る「公共下水道」



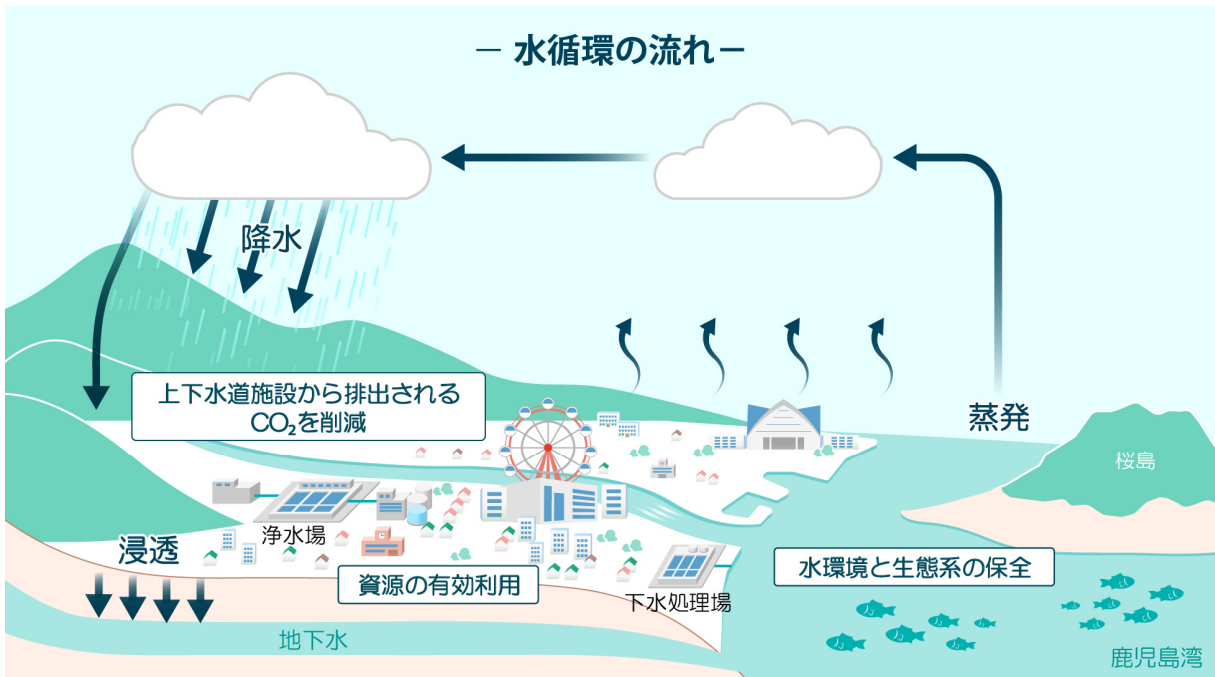
< II 強靱 >

災害時においても被災を最小限にとどめ、災害から生活を守る「水道」と「公共下水道」



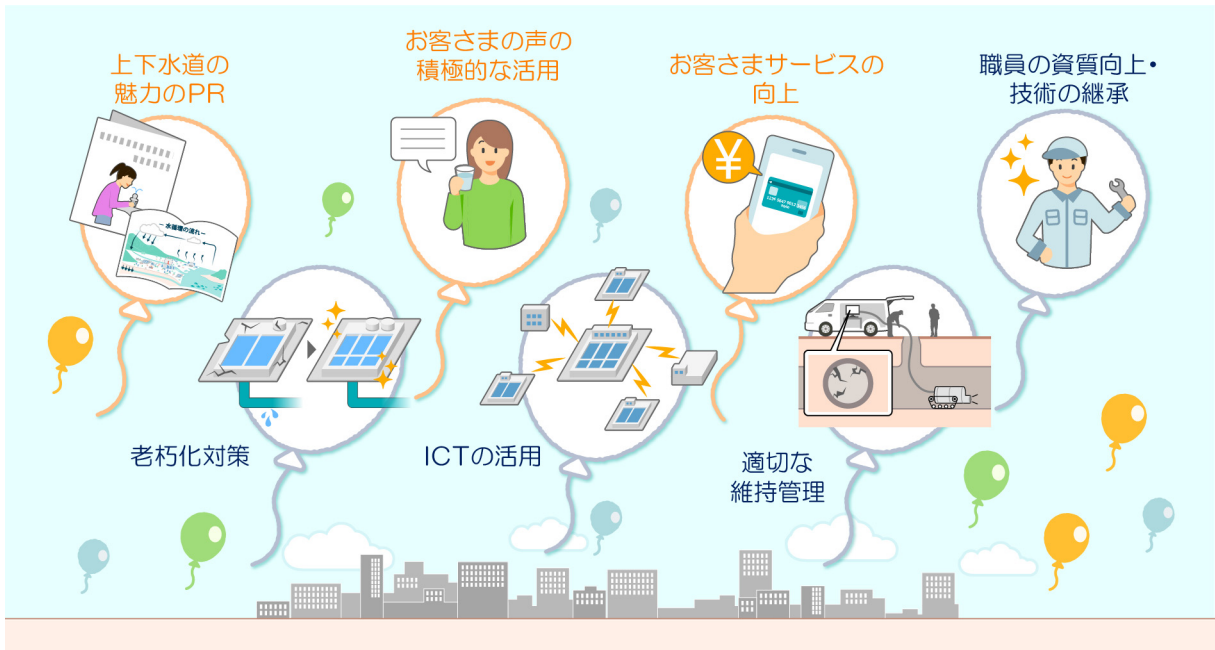
<Ⅲ 環境>

快適な水環境や地球環境に貢献する「水道」と「公共下水道」



<Ⅳ 持続>

時代や地域ニーズに適応しつつ、健全かつ安定的な事業運営を可能とする「水道」と「公共下水道」



(2) 基本目標

“基本理念”及び目指すべき“将来像”を実現するため、今後 10 年間（令和 4 年度から令和 13 年度）の方向性を示す 5 つの“基本目標”を設定します。

－ 基本目標 －

「1 安全で快適な暮らしと良好な水環境」

～市民生活の安全を守り、きれいな水環境をつくる～

いつでも安全で良質な水を安心して飲めるよう、施設管理や水質管理を徹底するとともに、計画的に水道施設の整備や更新を行います。

また、良好な水環境と快適な生活環境の確保を図るため、計画的に下水道施設の整備や更新を行います。

「2 災害に備える」

～災害時に被災を最小限にとどめ、速やかな復旧を図る～

市民生活に必要な不可欠なライフラインとして、災害時に被災を最小限にとどめ、被災した場合でも速やかに復旧できる上下水道の構築を行うため、災害対策の充実を図ります。

「3 脱炭素・循環型社会への貢献」

～環境負荷の低減や資源の有効利用に努め、環境を守る～

温室効果ガスの抑制や省エネルギーに配慮した取組を推進するとともに、水資源の保全や資源の有効利用を図り、地球環境を守ります。

「4 健全な事業運営」

～持続可能な経営の推進を図る～

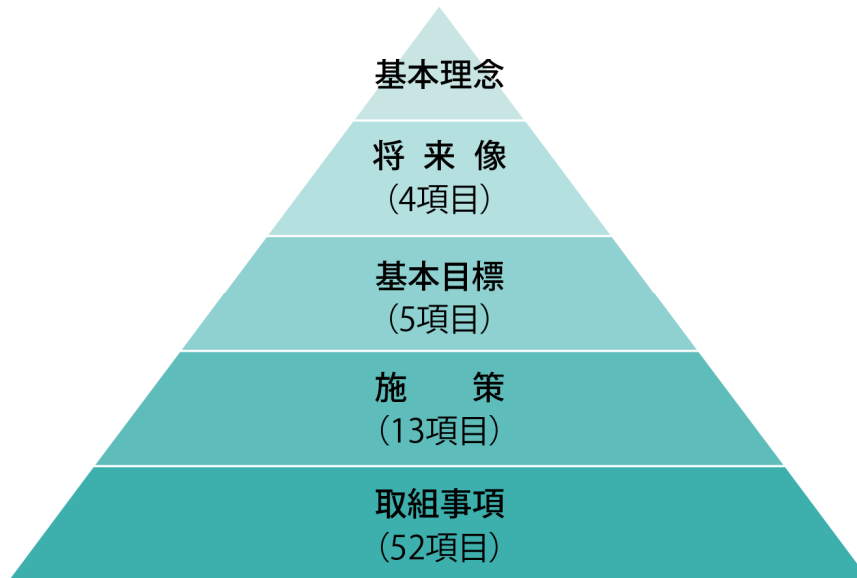
施設の最適化や効率的な維持管理及び経営基盤の強化に努め、健全で安定的な事業運営を図ります。

「5 信頼性の向上」

～お客さまの声にこたえ、サービスの向上を図る～

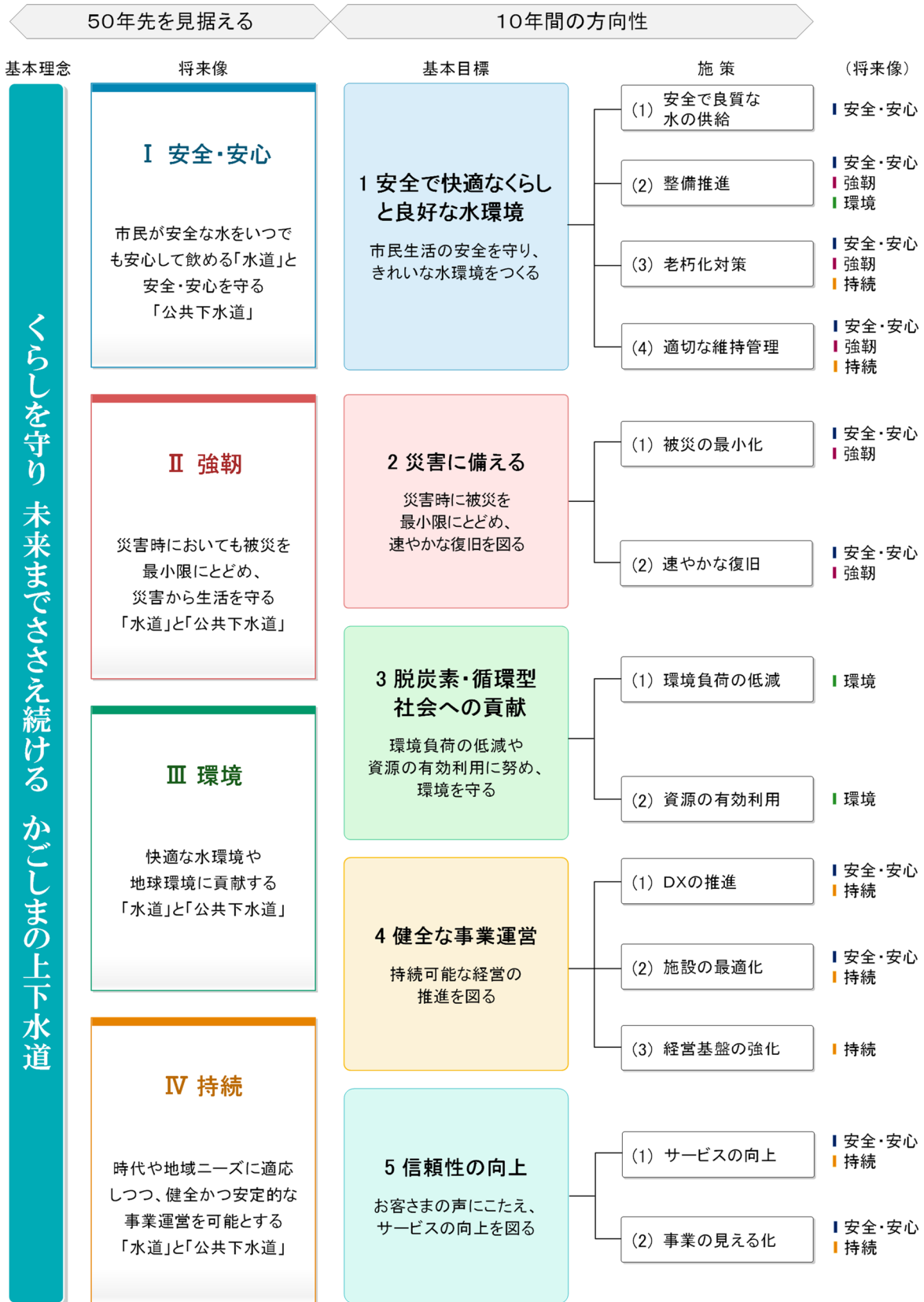
経営審議会や水道モニターなどからの意見・提言やお客さまの声を活用してサービスの向上を図るとともに、わかりやすい広報に努めることで信頼性の向上に努めます。

本ビジョンにおける“基本理念”、目指すべき“将来像”、“基本目標”及び目標を達成するための“施策”及び“取組事項”を示す体系図を、以下に示します。



「鹿児島市上下水道ビジョン」における“基本理念～取組事項”の体系図

“基本理念～施策”の体系図



施策と取組事項一覧

基本目標	施策	取組事項
1 安全で快適なくらしと良好な水環境	(1) 安全で良質な水の供給	①水質管理の充実・強化
		②貯水槽水道の適正な管理に係る指導・助言等
		③直結給水方式の利用促進
	(2) 整備推進	①地域の実情に応じた水道施設整備
		②簡易水道の編入等
		③計画的な下水道施設（污水）整備
		④計画的な下水道施設（雨水）整備
	(3) 老朽化対策	①水道管路・施設の更新、長寿命化
		②河頭浄水場（甲系統の浄水施設）の更新
		③工業用水道管路・施設の更新
		④下水道管路・処理施設（污水）の更新、長寿命化
		⑤下水道管路施設（雨水）の更新、長寿命化
	(4) 適切な維持管理	①水道管路・施設の適切な維持管理
		②下水道管路・処理施設（污水）の適切な維持管理
		③下水道管路施設（雨水）の適切な維持管理
	2 災害に備える	(1) 被災の最小化
②下水道管路・処理施設（污水）の耐震化		
③下水道管路施設（雨水）の耐震化		
④下水道施設（雨水）による浸水対策		
⑤水道施設の耐水化		
⑥下水道施設の耐水化		
(2) 速やかな復旧		①災害対策の充実
		②応急給水対策
		③湧水対策
		④非常用電源の確保
3 脱炭素・循環型社会への貢献	(1) 環境負荷の低減	①水資源の保全
		②公共用水域の水質保全
		③上下水道施設の省エネルギー対策
	(2) 資源の有効利用	①浄水発生土の有効利用
②下水道資源の有効利用		
4 健全な事業運営	(1) DXの推進	①ICTの活用
		②ストックマネジメントシステムの活用
	(2) 施設の最適化	①水道施設の統廃合
		②下水処理場・ポンプ場施設の再構築
		③下水汚泥処理施設の再構築
	(3) 経営基盤の強化	①効率的経営の推進
		②遊休資産の有効活用
		③廃止施設の有効活用
		④組織、定数の適正化
		⑤職員の資質向上・技術の継承
		⑥上下水道料金等未収金対策の強化
		⑦広告料収入の確保
		⑧資本の造成・財源の確保
⑨資金運用方針		
⑩一般会計からの繰入金の確保		
⑪広域化の取組		
⑫料金等体系の調査・研究、適正な料金等の設定		
5 信頼性の向上	(1) サービスの向上	①お客さまサービスの充実
		②お客さまの声の積極的な活用
	(2) 事業の見える化	①上下水道の魅力のPR
		②お客さまへの広報
		③水の環境学習の推進